

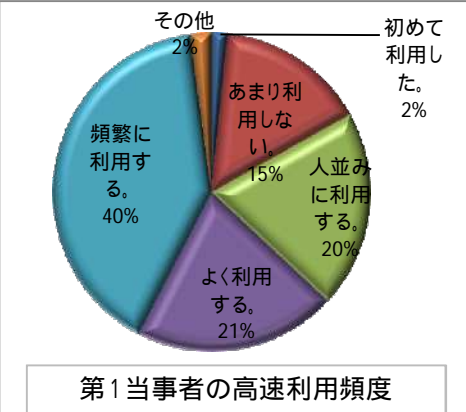
緊急提言！ 「慣れ・過信・油断」 高速道路の危険要素を排除せよ！

昨年から、高速道路における交通死亡事故が増加傾向にあります。特徴としては、相変わらず人と車が衝突する事故や、二次的な交通事故が増加しています。
「えっ！？ どうして高速道路に人がいるの？ 高速道路は自動車専用の道路でしょう？」
「どうして高速道路みたいな安全な道路で事故を起こすんだ。」
「きっと高速道路走行に慣れていない人が事故を起こしているのだろう。」
等と思われる方。あなたは既に「事故当事者」という落とし穴にはまっている可能性があります。
警察庁が平成23年に発生した高速道路における交通死亡事故の原因をつかった当事者について調査分析した結果からわかった交通死亡事故当事者の特徴を紹介します。

	1月	2月	3月
H22全事故件数	917	776	1,179
H23全事故件数	886	751	928
H24全事故件数	795	822	
H22死亡事故件数	11	9	14
H23死亡事故件数	8	10	12
H24死亡事故件数	14	20	22

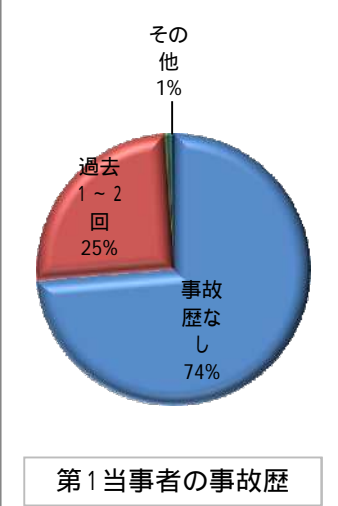
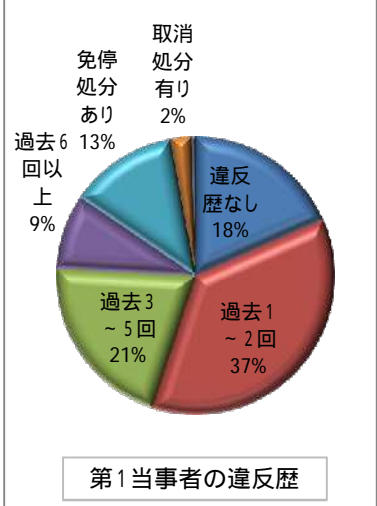
**わたしは高速道路をよく利用
するから、走行方法や危険性を
十分認識している。**

【アドバイス】
約8割の方が高速道路を「人並みに利用する」「よく利用する」「頻繁に利用する」という方でした。つまり、けっして、高速道路走行に不慣れな人だけが事故に遭っているわけではありません。むしろ、高速道路をよく利用する人ほど高速走行に慣れ、自分の運転を過信しているのではないのでしょうか？



**先日、交通違反で警察に捕まった。でも、事故を
起こしたことはないから自分の運転をあらためなくても
問題ない。**

【アドバイス】
約8割の方に「過去に交通違反歴がある」ことが判りました。その反面、約7割の方は交通事故歴がありませんでした。運が悪くて警察に捕まったが、事故は起こさない。」と思いませんか？ 交通違反は事故の前兆かも…。もう一度、自分の運転を見直しませんか？

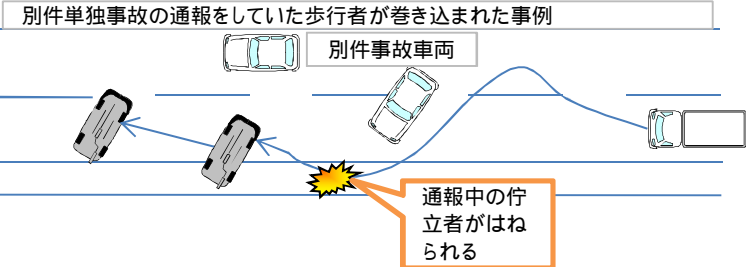


「第1当事者」とは、事故当事者のうち過失の重い者のことを言います。

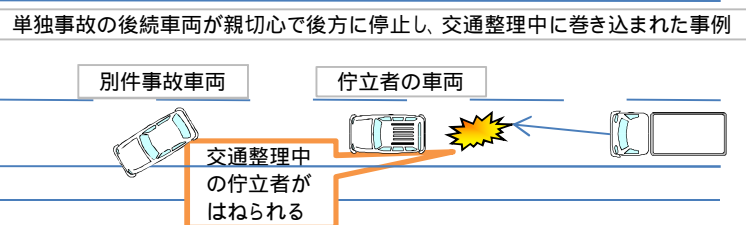
漫然・危険運転は多くの人的人生を狂わせることになります。

最近、事故当事者以外の通行者が親切心から通報や交通整理をしていて後続車にはねられ亡くなる事故が続いています。高速道路を利用する際は、一般道路とは違うことをしっかり認識しましょう。

【最近の交通死亡事故事例】



【最近の交通死亡事故事例】



【アドバイス】
高速隊員は高速道路を「戦場だ」と言って事故を起こさないよう細心の注意を払って仕事をします。戦場に丸腰(無防備)で立つことは絶対にしません。
高速道路利用者の皆さんは万が一に備え、自分や後続車両の身を守る停止表示器材等を備えましょう。
死亡事故の中には、交通トラブルから本線車道に車を止めて喧嘩していた事例もあります。高速道路では駐停車禁止です。
車間距離不保持で走る、追越車線ばかりを走る、そんな何気ない行為が事故の誘因となります。ちょっとした油断、ルール・マナー無視が、多くの人的一生を狂わせています。